

研 修 ( 研 究 ) 報 告 書

令和 〇 年 〇 月 〇 / 日

玉名市議会  
議 長 内田 靖信 様

氏 名 古奥 俊男 ( 實 )

下記のとおり、参加（開催）しましたので報告します。

参加議員	作本幸男、中尾嘉男、近松惠美子、西川裕文、古奥俊男、坂本公詞		
日 時	平成 〇 年 〇 月 〇 日 ( 火 ) ~ 平成 〇 年 〇 月 〇 日 ( ) 午前 〇 時 〇 分 ~ 午後 10 時 〇 分		
場 所	玉市役所4階1号委員会室	参加者数	40人
研修(研究)事項	光輝を取り戻す発達障害と呼ばれることもたち		
概要及び所見	<p>新生クラブ会派近松議員の音頭で出雲市ゆめの森子ども園園長前島由美先生と講師に迎え発達障害の子ども達への対策について講和をいただいた。参加者は執行部、保育士、保護者、各施設など多くの出席いただき急増する発達障害の原因、脳内アレルギーと脳の栄養障害と云う言葉、耳にし食への危険という出合で食の見直しミネラル補給による改善が必要であるとのこと。ミツバチが減っているミツバチは植物にとって欠かせない存在であるがそのためには環境保全型の農業を進めていく必要がある。学校給食をオーガニックのものにする事で子どもの健康を守ることが出来るミネラル豊富な食材や自然有機栽培の野菜を食べる事で障害改善につながるという講和であった。</p>		

～講演会～

子どもが変わる 未来が輝く！

輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち

日時 令和3年1月12日(火) 午前10時から12時

場所 玉名市役所4階

講師 前島由美先生(ゆめの森子ども園)

前島由美先生のプロフィール

25年間保育士として保育園に勤務。その時に、オーガニックな保育園の給食でアレルギー症状が改善していくのを実感。2011年保育士の仕事から療育支援へ移行。急増する発達障害児の原因を探る中、脳内アレルギーと脳の栄養障害という言葉を耳にし、「食べなさや危険」との出会いで著者の国光美佳氏とともに食の見直し(ミネラル補給)による改善に取り組む。

2013年、出雲大社の神気に包まれる地に、天然自然素材の古民家ゆめの森子ども園を開園。衣食住の昔体験を療育に取り入れるべく古民家ゆめの森子ども園を開園。

ミネラル豊富なおやつや食事を子どもたちに提供しながら、鶏、みつばち、ヤギ、ウサギ、犬、猫の飼育、自然栽培によるお米や野菜づくり、カマドでごはんを炊く等昔の生活体験や安心できる居場所づくりで現在小1～高校生まで30数名の発達障害と呼ばれる子どもたちを改善に導いている。

2019年、11月に保護者、学校長、スタッフなどの寄稿とともに、「輝きを取り戻す発達障害と呼ばれる子どもたち」を出版。

主催 玉名市議会 新生クラブ

玉名市においても急増している発達障害と言われる子どもたちに対して、何か改善の方法はないものか、と考えていたところ、前島先生の著書に出会いました。今回、現場の方々や学び意見交換するなかで、このことについて市が積極的に取り組むように我々も効果的な施策を打ち出していきたいと考えております。



ゆめの森子ども園  
愛の関わりと連携の実例集

輝きを取り戻す

“発達障がい”と呼ばれる  
子どもたち



感覚過敏からくる問題行動や不登校――

苦しい状況に置かれた子どもたちを救う、

ゆめの森子ども園の取り組みを紹介！

ここでは愛の関わりと食療支援、予防・対応・連携の事例が取り上げられています。

発達障害とゆめの森の連携で実現した療育実践

※ 小児科医との連携で痛み減る運動実践

※ 著者に寄せられる質問・相談への具体的な回答

ゆめの森子ども園代表  
前島由美 著

